

## 今後の予定

平成19年

11月下旬

●指定管理者募集開始

平成20年

1月下旬

●指定管理者候補決定

●センター竣工

3月上旬

●貸室申込み受付開始

3月下旬

●オープニングセレモニー

4月1日

地区センター  
オープン!

## Q&Aコーナー

**Q** 考える会の「提案」はどのように使われるの？

**A** 地区センターを運営する上で重要な「地域の意見」として尊重されます。運営を考える会の「提案」は、指定管理者が決定される段階においても、決定された後で実際に運営にあたる際にも、尊重されるべき地域の意見として位置づけられています。



**Q** 指定管理者ってなあに？



**A** 施設を運営管理し経営する団体です。民間企業やNPO法人などを志す民間団体の中から指定管理者会を経て選任され、請負で承認されます。

**Q** これからも利用のあり方を話し合う機会はあるの？

**A** あります。使いながらよりよい地区センターにしていきましょう。地区センターは利用する私たちが付属していくものです。この「利用のあり方」の提案も定期的なものではなく、特に、貸室の使い方などは実際に利用していく中でどんどん改善されるべきものです。また異い目で見ると、人口構成の変化などにもない基本的な考え方の見直しが必要になるとせむくもありません。このように、利用する私たちにとって利用しやすいしくみを指定管理者と一緒に考えたり、自分たちで施設を見守っていくしくみを作りたいと考えています。



# （仮称）清田区地区センター 運営を考える会だより

## No.2

発行日  
平成19年10月  
発行巻  
札幌市清田区市民地域活動委員会

## 運営を考える会が検討してきた地区センターの「利用のあり方」の提案がまとまりました!

みなさんにご意見をいただきながら「運営を考える会」でこれまで検討してきた（仮称）清田区地区センター「利用のあり方」について、具体的な提案がひとまずまとまりました。これで決定ということではなく、利用のあり方は施設がオープンしてからも、仕組みをつくって継続的に検討していきたいと考えています。

### 地区センターって何？

地区センターとは、区民センターを補完するコミュニティ施設の拠点です。（仮称）清田区地区センターは、清田区民センターから遠い星家・美しが丘地区および平岡地区町内会連合会を合わせた地域を利用圏として想定しています。



札幌市清田区地区センター（仮称）のイメージ

### 提案ってどうやってまとめたの？



運営を考える会のワークショップ



意見交換の様子

- 「運営を考える会」が平成18年から19年にかけて5回のワークショップで検討した意見をまとめました。
- 「運営を考える会」は、住民の公募で選ばれた16名の委員で構成されているもので、委員以外の皆様から寄せられた意見も反映しながら話し合いを重ねてきました。
- 「利用のあり方」は、建設ワークショップで検討された基本構想案と、建設検討委員会で検討された基本設計案を継承して話し合われました。



みんなで使う施設をみんなで育てていこうね!  
子育ての先輩に相談にのってもらいたいわ!  
子どもが安心して遊べる場所にしたいわ!  
家の近くだから趣味の集まりにでかけやすく楽しみじゃあ!  
体がなまっているから何か役に立つことをしたいわ!  
みんなが楽しめるイベントが新しい仲間ができるのうれしいわ!

## お問合せ

（仮称）清田区地区センター運営を考える会事務局  
清田区市民部地域振興課地域活動担当係  
〒004-8613 札幌市清田区平岡1条1丁目  
☎011-889-2400（内線256） ☎011-889-2701



次ページの「概要版」をご覧ください!

考える会公報メンバー16名が望ましい利用のあり方について意見交換を行った結果をまとめた提案の概要です。この提案をもとに、より望ましい地区センターの使い方の検討を今後も続けていき、指定管理者<sup>TM</sup>とも相談していく予定です。  
※指定管理者については最後のページをご覧ください。

# 運営を考える会からの『提案』

## 検討の前提 (平成16年~18年の話し合い)

### 平成16~17年度開催 建設ワークショップ基本構想案

- ①施設の特徴を重点化する(ミニ区民センターにならないように)
- ②将来を見据えて考える
- ③より多くの人が利用できる仕組みをつくる

子どもや子育て世代を支援する施設へ

多世代・誰もが気軽に交流できる施設へ

清田らしさ、清田ならではの特色をもつ施設へ

### 平成18年度開催 建設検討委員会基本設計案

- ①あれもこれもなく必要な機能にしぼる
- ②多世代間の大らかな交流が清田の特色
- ③フリースペースを地区センターの特色とし、その使い方を他にも転用する

「まちづくりサロン」「2階ラウンジ」などのフリースペースの広さが特色

地域で子育てを見守る「子育てスペース」設置(子育て図書コーナー併設)

小会議室・実習室を多く配置し、つなげて広く使えるように工夫

2F



1F



## 基本的な考え方

多世代が自由に集まり、常に人に活用される施設になるよう工夫する

- フリースペースを活かし、色いるな人が気軽に利用できるきっかけとなるイベントや企画を多く実施する。
- 気軽な待ち合わせ場所、立ち寄り場所としてもフリースペースを活用し、まずは地区センターに親しんでもらう。

利用者が互いに気持ちよく使えるよう、マナーやルールを周知する

- 地域住民と指定管理者が意見交換を行い、協力しあってマナーやルールを自然に守る雰囲気醸成する。堅苦しくなく、互いに心配り。
- マナーやルール、利用手続きをわかりやすく明示、周知する。(掲示やチラシ・リーフレットの設置など)

地区センターの利用を通して、地域の心の結びつきが育つような使い方を目指す

- 地域住民と指定管理者が互いに意見交換を行い、より望ましい活用を目指す。
- 地域住民が指定管理者の運営や管理、イベント企画などのサポートを担い、よりよい活用を实践する。
- 地域住民が運営や管理のサポートを行うことで人も集まりやすくなる。

## 1. 具体的な施設の使い方

### 貸室

■多目的室  
講座、地域イベントの他、軽スポーツなど多目的利用のため土足を可能に。利用促進のため特別無料開放も実施したい。

■実習室  
料理以外の利用が多いかもしれないが調理施設なので土足禁止に。災害時などの炊き出しもここで。

■集会議室  
和室転用も考え、座卓にもなる長机などの備品を提案。

■視聴覚室  
会議や講演、IT教室などの用途での使いやすさを考え、LANやマイク等の備品を提案。

■屋上多目的広場  
天体観測などイベント時の安全面に配慮した利用方法を提案。

※条例に関係する事項について  
料金や予約の仕組み、時間設定などは条例事項。参考意見として検討した。

### フリースペース

■子育てスペース  
親(同伴者)・利用者・運営主体みんなで見守る地域の子育てスペース。子育てに関するイベントを実施したい。

■まちづくりサロン・広場  
多世代が常につどい交流し、互いに学び合う地域スペース。多世代交流企画や地域イベントを実施したい。

■2階ラウンジとITコーナー  
• 2階ラウンジは、交流が活発に行われる1階とは対照的な、静かなくつろぎや学習の場。寄附団書の受付管理や貸し出しのルールづくりを。  
• ITコーナーは、地域情報の収集や市内図書館検索などに活用。一部の人たちに偏らず、誰もが快適に利用できる工夫を。

## 2. 指定管理者をサポートする会を設立しよう!

- 指定管理者の助けにならないよう適度な距離感を保ち、運営のサポートや企画支援を実施する。
  - 地域と指定管理者との連携を深めるコーディネーターの役割を担う。
- ※サポートする会をひとまず「(仮称)地区センター未来委員会」と名付けました。地区センターの未来を考える会という名称です。今後も検討を続けます。



提案の詳細はホームページで! <http://www.city.sapporo.jp/kiyota/machi/chikucen/>